

## 11/9 普段使っている水について学ぶ 令和3年度環境学習会

子どもたちに水の大切さや浄化槽の仕組みについて知ってもらおうと、緑小学校の5・6年生を対象とした「令和3年度環境学習会」が開かれました。

学習会では、愛媛県浄化槽協会の小野博昭<sup>ひろあき</sup>さんと木本大輔<sup>だいすけ</sup>さんから暮らしと水の関わりや家庭などから出る汚れた水の処理の仕方、協会が行っている水質検査などの活動について説明を受けた後、汚れた水をろ過装置で浄化する実験や水をきれいにする微生物の観察が行われました。

参加した6年生は、「水をきれいに保つために、生活でできることを始めていきたい」と感想を述べました。



▲汚れた水を手作りのろ過装置できれいにする児童

## 11/9 家畜の改良と飼養技術の向上を目指し 令和3年度愛媛県総合畜産共進会

西予市野村畜産総合振興センターで「令和3年度愛媛県総合畜産共進会」が開催されました。総合畜産共進会は、家畜の改良と飼養技術を通じ、健全な畜産振興を目的として行われています。

今回、広見地区で畜産業を営む池田一成<sup>かづなり</sup>さんが雌子牛の部に出品した「さつれも」が一等賞次席、未経産牛2区の部では「かりん」が一等賞次席、経産牛の部では「すまいる」が一等賞主席に選ばれ優秀な成績を残されました。



▲経産牛の部で一等賞主席を受賞した「すまいる」

## 11/10 中村時広知事と南予地方局管内住民との意見交換会 知事とみんなの愛顔でトーク

愛媛県の中村時広<sup>ときひろ</sup>知事が地域住民と気軽に話し合いながら、地域の方々の意見や要望を把握し、県政に反映させていくための「知事とみんなの愛顔(えがお)でトーク」が、御荘文化センターで開催されました。

会は、愛媛県庁と御荘文化センターをオンラインでつないだウェブ会議形式で行われ、南予地域を代表して9人が参加しました。町内からは、南宇和ライオンズクラブ会長を務める岡澤エディ<sup>ひろゆき</sup>さんと御荘平山地区でかんきつ栽培を行っている小川博之<sup>まり</sup>さんが中村知事と意見交換をしました。



▲スクリーンに映った中村時広知事と記念撮影を行った参加者



## 11/13 海浜環境美化の取り組み 御荘湾片の浜で清掃ボランティア



愛媛  
CATV  
動画



▲海岸でゴミ拾いを行う参加者の皆さん

愛南町の美しい自然や希少生物を守り、海浜環境の美化に努めようと、御荘湾片の浜で南宇和ライオンズクラブによる清掃活動が行われました。

晴天で時折強い風が吹く中、8団体62人が参加し、海岸に流れついた木材や空き缶などのごみを1.5トントラック3台分・軽トラック3台分除去しました。

南宇和ライオンズクラブの岡澤エディ会長は、「皆さんに楽しく作業していただけて良かったです。愛南町の海を守っていくために今後も活動を続けていきたい」と話しました。

## 11/15 自然災害について学ぶ防災学習会 国道56号津島道路工事現場を見学



愛媛  
CATV  
動画



▲工事施工業者の方に手ほどきを受け、測量体験を行う生徒たち

南海トラフ地震や津波、風水被害などの大規模な自然災害について学び、防災意識を高めてもらおうと、防災学習会(愛南町防災教育推進懇談会主催)を内海中学校の1年生12人を対象に開催しました。

学習会では、災害時の道路の役割や耐震性などについて学んだ後、バックホウ(ショベルカー)の操作・測量・高所作業車・ドローン操縦などを体験しました。

初めて乗ったバックホウやドローン操縦が楽しかったと話す生徒は、「小学校の頃から防災学習をしてきたけど最新技術で津波の被害地域などを詳しく知ることができてよかった」と感想を述べました。

## 11/21 楽しみながら学ぶ ワクワク体験教室 篠山の自然を楽しもう



▲篠山山頂の絶景で記念撮影

篠山でワクワク体験教室「篠山の自然を楽しもう」が行われ、町内の小学生16人が参加しました。

山頂へ向かう道では、環境省の職員から篠山に関するクイズが出題され、害獣から篠山の自然を守るための取り組みや自生する植物について楽しみながら学びました。

姉妹で参加した平城小学校4年の山田ゆづさんは、「知らない葉っぱの名前を知ることができたし、楽しく登山ができた」と話し、山頂で食べたお弁当のおいしさやどんぐりをたくさん見つけた喜びを姉妹で分かち合いました。

11/22 エス・ディー・ジーズ SDGsについて学ぶ  
古いTシャツを使ったエコバッグ作り

エス・ディー・ジーズ  
SDGsについて学んでもらおうと、緑小学校で古いTシャツを使ったエコバッグ作りが行われ、緑小の全児童と保護者が参加しました。

愛南町連合婦人会の<sup>かおる</sup>金平香さんからSDGsの説明を受けた後、家庭にある古いTシャツを使ったエコバッグの作り方を教わり、児童と保護者は協力しながらバッグを制作していました。

参加した児童からは、「古いTシャツからエコバッグが作れて驚いた」といった感想が上がり、講師を務めた金平さんは、「皆さんが教えたことを素直に実践してくれたおかげで、上手にバッグを作ることができました。来年もこういった取り組みをやりたい」と話しました。



▲金平香さん(右)からエコバッグの作り方を教わる親子

11/24 城辺小学校の児童が町探検  
愛南町役場の庁舎を見学

城辺小学校の2年生21人が校外学習で愛南町役場を訪れ、庁舎の見学を行いました。

この校外学習は、自分たちが生活している町に関心を持ち、町の人々や場所に興味を持って関わることで自分たちの生活との関わりに気付くことを目的に行われました。

児童たちは町長室や議場、屋上などを見学した後、スペシャルゲストのなーし君と満面の笑みで記念撮影を行いました。

児童は、「役場の中はすごく広かった。いろいろな人が仕事をしているのがかっこよかった」と感想を話しました。



▲初めて入る町長室に興味津々の児童たち

11/28 女性を対象としたモニタリング  
あいなんエコツアー「歴史を歩く」

「あいなんエコツアー」の第4回目が行われ、町内の女性11人が「紫電改」見学と西海方面を散策しました。

石垣の里では、外泊地区の吉田幸稔<sup>ゆきとし</sup>区長から、地区の歴史や石垣の特徴について説明を受け、参加者は先人の知恵や工夫が詰まった美しい景色に見入っていました。

また、野路菊が見頃になった高茂岬では、戦時中海を監視する高茂衛所や砲台が設置され、軍事上重要な場所であったとの説明を受けました。

参加者は、「石垣の里や高茂岬は何度か来たことがある場所だったが、説明をしてもらうことで、新しい発見があった」と感想を話しました。



▲石垣の里を散策する参加者の皆さん

## 11/28 子どもたちの興味・関心を広げる 宇宙教室を開催



▲手作りロケットを打ち上げる参加者たち

南レク城辺公園で愛媛県主催による宇宙教室が行われ、町内外から小中高生や保護者45人が参加しました。

これは、子どもたちの宇宙への興味関心の向上や、理系人材の育成などを目的にしている他、南レク公園の利活用方法を提案し南予地域の活性化を目指す取り組みです。

教室では、千葉工業大学惑星探査研究センターの秋山<sup>ひろあき</sup>演亮さんと前田<sup>けいすけ</sup>恵介さんを講師に迎え、手作りロケットの作り方や、宇宙までバルーンを飛ばして観測するスペースバルーン実験などについて説明を受けました。その後球技広場に移動し、子どもたち自らが作ったロケットの打ち上げを行いました。

## 11/29 技術の向上を図るため 愛南町シルバー人材センターで「剪定講習会」を開催



▲松の剪定方法について学ぶ参加者たち

愛南町シルバー人材センターで、植木の管理や剪定の基礎知識などを専門講師から学ぶ「剪定基礎講習会（愛媛県シルバー人材センター連合会主催）」が全3日間行われ、講義と実習を行いました。

この日行われた講習会では、有限会社横山緑化センターの横山<sup>くまじ</sup>久馬二代表取締役から混み過ぎた枝を切り落とすことで、風通しと日照状況が改善され樹木の成長を促すことや、樹木管理の基礎知識などの説明を受けました。その後、参加者は横山さんの助言を受けながら松やサルスベリの剪定を行いました。

シルバー人材センターでは剪定・草刈り作業ができる方および女性会員の加入を募集中です（愛南町シルバー人材センター（電話：73-2900））。

## 11/30 ゴルフを通じ社会貢献 「第25回一本松チャリティーゴルフコンペ」の寄付金贈呈式



愛媛  
CATV  
動画



▲左から 宮崎和友ありんクラブ会長、前田仁大会実行委員長、田中俊行城辺保育所長、児島秀之教育長

四万十カントリークラブで開かれた「第25回一本松チャリティーゴルフコンペ」（同実行委員会主催）の参加者有志や協賛企業から募った寄付金等の贈呈式が愛南町役場本庁教育<sup>ひとし</sup>長室であり、大会実行委員長を務める前田仁さんから『ありんこくらぶ』や町教育委員会、町内保育所の各代表者に対して目録の贈呈が行われました。

このチャリティーは、ゴルフを通じて社会貢献をしたいとの思いで毎年行われているもので、集まった寄付金は障がい児者の親の会の活動費用や、子どもたちに本を読んでもらうための図書券に使用されます。